

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神作業療法評価学演習			必修	1	2	前期(後半)
担当教員		研究室	電子メールID		オフィスアワー	
池谷 政直		C311	ot_ikeya		水曜日 9:00~10:30	
授業の目的・概要	精神障害領域の対象者に対する治療介入に必要な評価を実施できるよう、基本的知識、技術、態度について学習することが本演習の目的である。各学習内容について、課題学習・動画を通して理解し、フィードバックとメディアを利用したグループワーク等の意見交換を行い、精神作業療法評価の理解を深める。本科目は2コマ連続の計8回の授業で実施する。					
学習上の助言	作業療法評価学(精神障害領域)において学習した内容を十分に理解した上で講義・演習を受けることが望ましい。授業は演習・実習が中心となるため、事前に教科書を読むなど予習をしておくこと。					
教科書	標準作業療法学作業療法評価学第3版/編:能登真一、山口昇、玉垣努、他/医学書院/2017					
参考書	新版YGテストの実務手引/著:八木俊夫/日本心理技術研究所/1989 作業面接としての箱づくり法-実習ノート第2版-/著:富岡詔子/箱づくり研究会/2004					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	対象者の疾患、状態に合わせた評価の選択ができる				OT (1) (2)	
②	評価の方法を理解し、適切に実践することができる				OT (1) (2)	
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	オリエンテーション、精神機能評価の概要 フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	同時双方向型授業	(事前学習)作業療法評価学の配布資料を用いた復習。 (事後学習)授業資料を用いた復習、Teamsの課題を用いた理解度の確認・復習。課題①:指定させた動画を視聴し、観察記録を作成し、レポート提出。			
2	情報収集、観察と面接について学ぶ フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	(事前学習)教科書 P246-250, P478-485を精読する。 (事後学習)授業資料を用いた復習、Teamsの課題を用いた理解度の確認・復習、課題②:NPI興味チェックリスト実施の様子を撮影した動画を視聴し、観察された事柄および検査結果をまとめて、レポート提出。			
3	非言語によるコミュニケーションについて学ぶ フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	同時双方向型授業	(事前学習)教科書 P491-492の該当部を精読する。 (事後学習)授業資料を用いた復習、Teamsの課題を用いた理解度の確認・復習、課題③:授業中に視聴した動画から、精神症状を評価し、レポート提出。			
4	質問紙を用いた面接(NPI興味チェックリスト) フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	(事前学習)教科書 P487-489の該当部を精読する。 (事後学習)授業資料を用いた復習、Teamsの課題を用いた理解度の確認・復習、課題④:授業中に視聴した動画から、社会生活機能を評価し、レポート提出。			
5	精神機能作業療法における検査法について学ぶ 精神症状評価尺度(BPRS、PANSS、SDS) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	同時双方向型授業	(事前学習)教科書 P487-489の該当部を精読する。 (事後学習)授業資料を用いた復習、Teamsの課題を用いた理解度の確認・復習、課題④:授業中に視聴した動画から、社会生活機能を評価し、レポート提出。			
6	精神機能作業療法における検査法について学ぶ 精神症状評価尺度(BPRS、PANSS、SDS) フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	(事前学習)教科書 P487-489の該当部を精読する。 (事後学習)授業資料を用いた復習、Teamsの課題を用いた理解度の確認・復習、課題④:授業中に視聴した動画から、社会生活機能を評価し、レポート提出。			
7	精神機能作業療法における検査法について学ぶ 社会生活機能評価尺度(GAF、LASMI、Rehab) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	同時双方向型授業	(事前学習)教科書 P487-489の該当部を精読する。 (事後学習)授業資料を用いた復習、Teamsの課題を用いた理解度の確認・復習、課題④:授業中に視聴した動画から、社会生活機能を評価し、レポート提出。			
8	精神機能作業療法における検査法について学ぶ 社会生活機能評価尺度(GAF、LASMI、Rehab) フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	(事前学習)教科書 P487-489の該当部を精読する。 (事後学習)授業資料を用いた復習、Teamsの課題を用いた理解度の確認・復習、課題④:授業中に視聴した動画から、社会生活機能を評価し、レポート提出。			

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

9	精神機能作業療法における検査法について学ぶ パーソナリティ評価 (YG テスト) フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	(事前学習) 教科書 P494 の該当部を精読する。 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習、課題⑤：YG テスト実施の様子を撮影した動画を視聴し、観察された事柄および検査結果をまとめて、レポート提出。	1
10	精神機能作業療法における検査法について学ぶ パーソナリティ評価 (YG テスト) フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業		3
11	精神機能作業療法における検査法について学ぶ 箱作り法の実践 (作業面接について) フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	(事前学習) 教科書 P496-497 を精読する。 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習、課題⑥：箱作り法実施の様子を撮影した動画を視聴し行動観察チェックリストを実施、結果をまとめてレポート提出。	1
12	精神機能作業療法における検査法について学ぶ 箱作り法の実践 (箱作り法の実施手順について) フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業		3
13	精神機能作業療法における検査法について学ぶ 箱作り法の実践 (結果の読み方について) フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	(事前学習) 資料を用いた前回授業の復習 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習、課題⑦：箱作り法の結果をまとめ、レポート提出。	1
14	精神機能作業療法における検査法について学ぶ 箱作り法の実践 (結果のまとめ方について) フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	印刷教材等での授業		3
15	精神機能作業療法における検査法について学ぶ 認知機能評価尺度 (BACS-J) その他の評価 (POMS、SMSF) フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	(事前学習) 教科書 P489-490 の該当部を精読 (事後学習) 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認・復習。	1
試	定期試験			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	50	0	0	0	100
総合 合力 指標	知識・技術力	40	10	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	40	0	0	0	50
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	①	②		
試験	①	✓	各検査法の評価に関する知識について、筆記試験を実施する。試験は講義で使用した教科書・配布プリント、同時双方向型授業において説明した内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。問題(解答)形式は記述・穴埋め、選択式の100点満点で、総合評価の50%に換算する。	試験後に模範解答を提示し解説する。学生は教科書、配布プリントを参照し要点を再確認する。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	指定された課題をまとめて、レポートを提出する。計7回の提出を求め、配布するルーブリックに基づいて成績評価を行う。レポートの成績は総合評価の50%に換算する。	レポートにフィードバックを記載した上で返却する。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
<p>担当教員：◎池谷政直、中西康祐、山鹿隆義</p> <p>この科目は2時限連続、2クラス開講の授業である。</p> <p>Teamsを使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境等を推奨する。あわせて、動画視聴による課題もあるため、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によっては再度シラバスを変更する可能性がある。</p> <p><b>教員の実務経験</b>：本科目を担当する教員は作業療法士として精神障害領域において10年以上の実務経験を有している。</p> <p><b>実践的授業の内容</b>：実際の評価バッテリーを使用した動画を視聴し、模擬的に評価を実施する機会を提供する。また疾患や患者像について視覚教材を用いることで、学生の理解に繋げる。</p>				